

香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

ICT 機器を活用した教育

ICT (Information and Communication Technology) 機器を活用した教育とは、パソコンや電子黒板、プロジェクターなどの情報通信技術を活用した教育のことです。ICT 機器を効果的に活用した授業を行うことで、五感を働かせたわかりやすい授業が展開でき、子どもたちの学習意欲や達成感を高めることができます。そのため本町の小中学校では、右図のような機器を導入し、すべての児童・生徒一人が1台のタブレット型パソコンを授業で使えるよう配置しています。さらに、普通教室のWi-Fi設備(無線でパソコンなどをインターネットに接続できる設備)を整備し、普通教室でICT機器が活用できるように環境を整えました。



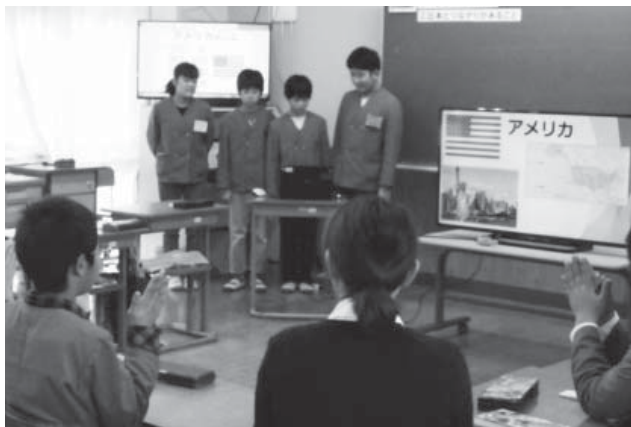
▲図 さまざまなICT機器を使った授業
①パソコン ②プロジェクター ③実物投影機 ④電子黒板

子どもたちが羽ばたいていく研究の場やビジネスの場では、ICT機器は欠かせないものの一つとなっています。授業にICT機器を取り入れることで、子どもたちは機器を使いこなす知識や技能の習得ができます。それに加えて、正しい情報活用の方法や情報通信社会で必要とされる道徳や情報マナーについても学習しています。

例えば、兎塚小学校では、食育の研究授業で調べ学習したことをパソコンでまとめ、それをテレビに映し出して発表し、食の多様性について理解を深めました(写真1)。長井小学校では、体育

の授業で鉄棒に取り組んでいる姿をタブレットで撮影し、どのように動作しているのかを確認し、どうすればうまくいくかを考えさせることで分析する力を養っています(写真2)。

町内の学校園は魅力ある授業を展開するため、指導方法の工夫改善に取り組んでおり、町教育委員会はそれをサポートしています。ICT機器の効果的な活用はその一つとして推進しています。これからも子どもたちの学力向上を図るべく、よりよい授業の実現に努めていきます。



▲(写真1) パソコン、テレビを使った食育の授業の様子(兎塚小学校)



▲(写真2) タブレットを使った体育の授業の様子(長井小学校)